

きゅうあずま や しゅぞうてんてん ぽ けんしゅおく

旧東屋酒造店店舗兼主屋

- ◇ 指定日 平成31年3月29日
- ◇ 所在地 本町
- ◇ 所有者 個人

東屋は、江戸時代後期の文政7年(1824年)に酒造業を創業し、天保3年(1833年)には持ち船で江戸との交易を開始し、海産物や衣類などの商いも始めました。弘化元年(1844年)には質屋を開業し、幕末期に急速な成長を遂げました。明治以後も閉伊川河口の埋立てなど地域の発展にも貢献した、宮古を代表する大店の商家です。

明治37年(1905年)の宮古町大火で主屋が消失したため、翌年に現在の店舗兼主屋が建築されたと言われています。開口8間、奥行は後年の改修部分を除いて8間半となっています。

建物内には、かつて馬車も通った通り土間「ろーじ」や質屋を営んでいた際の^み^せ見世などのほか、洋風の窓や照明も残されています。盛岡藩の町家の間取りを継承する、優れた近代和風建築物といえます。

